

情報セキュリティ 10大脅威2022

～個人向け～



順位	脅威	昨年順位	昨年比較
1位	フィッシングによる個人情報等の詐取	2	↑
2位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	3	↑
3位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭請求	4	↑
4位	クレジットカード情報の不正利用	5	↑
5位	スマホ決済の不正利用	1	↓
6位	偽警告によるインターネット詐欺	8	↑
7位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	9	↑
8位	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	7	↓
9位	インターネットバンキングの不正利用	6	↓
10位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	10	—

「情報セキュリティ10大脅威」公開:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

「情報セキュリティ10大脅威2022」とは…

IPAが公開している、その年の状況等からセキュリティ脅威を順位付けしたもの。

順位が上位のものには特に注意をしてください!

第1位「フィッシングによる個人情報等詐取」



公的機関・有名企業を騙った電子メール・ショートメッセージを送信し、フィッシングサイトに誘導させ、個人情報を盗み取る手口です。



ログインはブックマークした公式のサイトから

第2位「ネット上の誹謗・中傷・デマ」



安易に行った投稿が犯罪のきっかけを作るだけではなく、自分自身が加害者になってしまう可能性があります。



発信する前に、公開しても問題がない情報であるかを確認する

一度インターネット上に公開された情報を完全に削除することはできません。

第3位「メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求」



「ハッカーを名乗る人物からのメールがきた」「裸の動画をバラまかれなければ暗号資産を支払えと脅される」
このような脅迫メールが来ても慌てない!



相手の要求に応じず無視をする。

脅迫メール内にパスワード等が記載されている場合は、早急に変更しましょう。